



祭礼関係者合同会議

八月一日(金)午後七時三十分より、「桃山の間」にて七町内の氏子会会長、祭礼世話人連合会、祭礼青年連合会、祭礼世話人、祭礼世話人、祭礼青年、神社(宮司、氏子総代)が集まり「祭礼関係者合同会議」が開催されました。
夏目宮司、夏目氏子総代会長の挨拶の後、役員紹介、例大祭日程、各町奉納行事の確認が行われました。

秋の例大祭日程

十月十日(金)

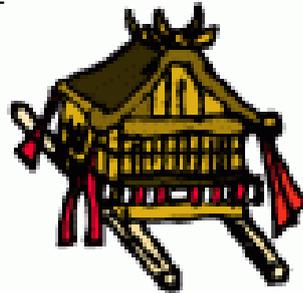
「氏子入り・初参り」「祭礼能」「各煙社安全祈願」

十一日(土)

「殿上式」「奉納行事」「出御式」「神輿渡御」「還御式」

十二日(日)

「各煙社安全祈願」「やぐら宮入」「煙火奉納」「成就式」



富永神社

神社会館

新城市宮ノ後 78
電話 22-1989

開館日時

朔日・月・火・木・金
午前 9時~12時
午後 1時~3時

ホームページ

氏子入り・初参りのご案内

令和六年八月一日以降にご誕生のお子様、また、婿入り、嫁入り、転入された方のご健康・ご幸福を御祈禱いたします。

齋行日 十月十日(金)

【例大祭初日】

受付時間 午前九時半~十一時半
午後一時~二時半

受付場所 神社会館

初穂料 ご一名様につき 三千元



昨年の様子

【初宮参りと氏子入り】

初宮参りは誕生後初めて氏神さまに、お婆さんなどに抱かれてお宮参りをする事で、単にお宮参りともいいいます。氏神さまに出生を報告するもので、子供が無事に生まれた感謝と今後の成長のご加護を祈ります。男児は誕生三十一日目、女児は三十三日目にお参りすることが多いようですが、地方によってさまざまです。また、このことよって氏子入りの儀式も兼ねているところもあります。

氏子入りは一人の人間としてこの地域の一員、ひては氏神さまの氏子の一員として認めていただくこととなります。氏神さまとのか縁が結ばれてその一生の間、何かにつけて氏神さまと氏子のかかわり合いをもって生きていくことになります。

神社本庁(氏子―氏神様とのかかわり―)より

七五三詣り齋行のご案内

十一月八日(土)

九日(日)

受付時間

午前八時半～十一時半
午後十二時半～一時半

随時受け付けております。

受付場所

神社会館

初穂料

ご一名様につき 三千元



社殿でお子様の健やかな成長を願ってご祈禱、お祓いをさせて頂き、授与品(「お守り」「福笹」「千歳飴」)をお渡しします。
また、社殿内でのお子様、ご家族の写真を記念にお撮り頂けますので、ご家族様お揃いでお参りにお越しください。



七五三のお祝いは、三歳児の「髪置」五歳児の「袴着」七歳児の「帯解」のお祝い事に由来し、平安の昔から継承されています。
また、千歳飴は、子供の無病息災・延命長寿を願ってお宮参りの後で、隣近所に配った習わしが伝わったものと言われています。

除草作業のご案内

九月二十一日(日) 九時より第三回

神社除草作業が予定されています。

例大祭に向けて境内を綺麗にしたいと思しますので氏子の皆様のご協力をお願いいたします。



池の鯉が全滅してしまいました

この夏の猛暑が原因か分かりませんが、池の鯉が全滅してしまいました。

池は当分の間水を抜いていまして、注意してください。



【御祈禱の受付】

安産祈願、初宮参り、厄年祓い、車両交通安全、結婚式、金・銀婚式、合格祈願、作業安全等ご祈禱の受付をしています。ご祈禱を希望される方は、事前に神社会館受付へお申し込みください。
(電話番号) 二二一―一九六九

(受付時間) 月・火・木・金曜日

午前九時～十二時・午後一時～三時

(御祈禱料) 五千元から

※出張祭典の場合は別途ご相談ください。

